



豊かな自然にひと・もの・まちが輝く健康都市 網走

第109号（令和4年11月）

発行／網走市議会

編集／網走市議会広報委員会

市議会だより

【もくじ】

トピックス	2～3P
一般質問	4～5P
政務活動費の執行状況	
臨時会概要	6P
議案審査結果	7P
議会報告会	8P

市民のみなさまの傍聴をお待ちしております。

次の定例会は12月6日(火)
～12月15日(木)の開催予定です。

※詳細につきましては、議会事務局へ
お問い合わせください。

■問い合わせ TEL 44-6111(内線281・282)



中継ホームページ
はこちらから

UD FONT

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮した
ユニバーサルフォントを採用しています。

オホーツク網走マラソンのランナー（令和4年9月25日 小西正敏氏 撮影）

9月定例会のトピックス

第3回定例会概要

第3回定例会は9月6日から開催されました。令和4年度の一般会計に2億8248万円、介護保険特別会計に1億3917万円、臨時財政対策債限度額変更、網走市重度心身障がい者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正、網走市職員の育児休業等に関する条例の一部改正、網走市職員の定年改正、網走市職員の定年引上げに伴う関係条例の整理に関する条例制定、財産の取得について、財産の無償貸付について、市道の路線認定及び廃止について、辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について、議案が提案され、それぞれの常任

委員会に付託されました。

総務経済委員会ではジャガイモシロシストセンチュウ緊急防除事業、持続的畑作生産体系確立緊急対策事業、農業経営基盤確立事業、女満別空港利用促進事業などについて審査を行いました。

文教民生委員会ではマイナナンバーカード普及促進事業、障がい者福祉支援事業、重度心身障がい者医療助成事業、網走厚生病院脳神経外科運営支援事業、網走南ヶ丘高校定時制生徒通学手段確保事業、スクールバス密集対策事業、修学旅行キャンセル料等助成事業、小学校電子黒板等整備事業、介護保険事業

基金積立金及び償還金などについて審査を行いました。

いずれの常任委員会でも慎重に審査され委員全員の一致により原案は可決されました。

9月13日から7名の議員による一般質問が行われました。理事者答弁に一部不透明な事案があり、緊急質問にて確認を行いました。また、請願6件意見書3件が審査されました。会期中には令和3年度各会計決算審査特別委員会が設置され審査を行いました。

(詳細は3頁参照)
最終日の9月27日は追加議案、総務経済委員会に網走市新庁舎建設建築主体工事(1工区)(2工区)請負契約の締結について、網走市新庁舎建設電気設備工事請負契約の締結に

ついて、網走市新庁舎建設機械設備工事(1工区)(2工区)請負契約の締結についてが提出され、委員全員の一致で原案可決されました。

同じく最終日には、網走市における油流出事故発生に対する汚染土の全量撤去実現に向けて北海道知事に具体的 な取り組みを求める意見書、選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書が上程され、原案可決されました。

また本会議では決算審査特別委員会に付託されていた令和3年度各会計決算については賛否同数で議長裁決により認定となりました。

定例会閉会前に9月15日に決議された網走市議会基本条例の理念に沿った対応と説明を

求める決議に対し市長から説明がありました。(決議の全文はこちらをご覧ください)

〔網走市議会基本条例の理念に沿った対応と説明を求める決議〕



トピックス

令和3年度
各会計決算審査特別委員会

9月の第3回定例会では、決算審査特別委員会を設置し、令和3年度予算（一般会計及び6特別会計、3公営企業会計）の執行状況などについて詳細な審査を行いました。

今期の決算審査特別委員会は議長と監査委員を除く、議員13名で構成。委員長に立崎聡一氏（志誠会）、副委員長に山田庫司郎氏（民主市民ネット）を選出しました。

その後、担当部課別に実質4日間での細部審査を行いました。議論の内容としては、令和3年度は新型コロナウイルス拡大防止と、ワクチン接種に明け暮れた年であったが、国の交付金を活用した各種対策が行われ、様々な接種体制にも取り



組むなど迅速な対応について評価する意見などがありました。

また、資料の誤りや、答弁誤りなどにより時間を費やしたことは反省すべき点であり、重く受け入れしっかりとした対応を求める意見や、一般廃棄物処理についても真摯な対応を求める意見などがありました。

また、各特別会計においては網走港整備

特別会計や、能取漁港整備特別会計では、多額の累積赤字を抱えているが保有地の売却や利活用に積極的に取り組んでいる点には評価するなどの意見などがありました。

審査の結果、認定第1号令和3年度網走市各会計歳入歳出決算については「事業検証が十分に機能していない状況が一部認められた。指定管理委託事業等を含め、全ての事業検証の精度を高め、次年度以降の事業の実施に活かすこと。」との附帯意見を付し、大方の賛成をもって原案認定されました。

令和3年度水道事業会計、簡易水道事業会計、下水道事業会計の3つの事業会計の利益の処分及び決算は全会一致で原案可決及び認定されました。

重油漏れ事故対策検討
特別委員会を設置

網走湖に隣接する観光ホテルで約8千リットルの重油が地下に漏れたことを受け、9月6日に「重油漏れ事故対策検討特別委員会」を設置しました。

原因者による早急な現状回復を促すとともに、自然環境及び産業へ

の影響を勘案し、被害の拡大防止を図るための対策を検討の上、関係機関へ提言する等、事故発生以前の環境を1日も早く取り戻し、市民生活及び経済活動を安定されることを目的としています。



【重油漏れ事故対策検討特別委員会】

委員長	小田部 照				
副委員長	松浦 敏司				
委員	金兵 智則	栗田 政男			
	近藤 憲治	立崎 聡一			
	永本 浩子	平賀 貴幸			

一般質問から

男性用トイレにも
サニタリーボックスを！

公明クラブ 澤谷 淳子



問)男性用トイレにもサニタリーボックスを設置してほしい。

答)近年、病気や加齢、障がいなどで紙おむつや尿取りパットを使用している方が安心して外出できる環境整備の一つとして、男性用トイレにサニタリーボックスを設置する動きが全国的に広がっている。市として施設の規模や利用状況を点検しサニタリーボックスの設置を進めていく。

問)生理用品を生活困窮で用意できない女性が今も存在している。そこで、生活相談に来た方へは支援決定される前の1回でも良いから、生理用品を先ず現物支給してほしい。

答)生理の貧困は生活困窮からくる。アンケートでも用意できない女性が居ることは認識している。生理用品の支援だけが目的ではなく、相談者が必要な支援に繋がれるようサポート体制の構築をしながら相談窓口で必要に応じて生理用品の支援を行いたい。

廃棄物処分場について
どこバスについて

日本共産党議員団 村椿 敏章



問)今年の予算議会の「廃棄物処分場の当市の基本的な方向性が確立された上で広域連携の協議に臨むこと」とした附帯意見に反して、市が7月に広域化推進協議会の設立は議会軽視だ。方向性は確立されたと言えるのか。

答)検証と反省を行い、説明会やまちづくり懇談会で市民と問題の共有をした。基本的な方向性は、分別の徹底と中間処理による減容化である。

問)広域化推進協議会の設立により、ごみ減量化等推進懇話会において「懇話会の存在する意味はなんなのか」と混乱させた。市の責任は重い。市長自ら諮問した懇話会の議論を無視したことになる。設立前に説明すべき。

答)混乱させたことについて、丁寧に報告する点で配慮が足りなかった。

問)どこバスで、同じ地域でありながらエリアが分かれ、不公平だとの声があるが。

答)地域の声を聞きながら、検討していく。

一般廃棄物処理の反省と
検証について

志誠会 古田 純也



問)生ごみの堆肥化についてお伺いします。堆肥化を効率的に行っている事例においては、生ごみの分別設定をいわゆる食品残さに限定しています。当市のようにティッシュや割り箸、シュレッダーくず、貝殻、枝木などは入れないでください、という設定にするのが堆肥化の常識とのことであります。有機物の堆肥化を全量する事が出来ない事がわかった今、今後の対応についてお尋ねします。

答)当市のごみ処理では、熱処理を用いた中間処理を導入していないことから、有機性廃棄物を直接埋立しないために、紙系や木質系のごみも一緒に堆肥化処理する内容となりました。まずは、それらの阻害要因を分別することにより、堆肥化施設の正常な運用を確保するため、市民の皆様にご協力をお願いしたいと考えております。別の袋で出していただく予定としており、周知を行いたいと考えています。

特殊詐欺対策、スポーツ
合宿について

公明クラブ 永本 浩子



問)北海道では特殊詐欺被害が急増。網走管内でも40代女性がSNSの投資話で1千万円騙し取られる被害が発生。当市の被害状況は。

答)令和2年は0件、令和3年は1件約50万円、本年は7月末で2件約400万円と増加中。

問)山形県ではお笑い芸人を起用したポスターや動画を配信。クロスワードパズルや書道コンクール等であらゆる年代に「楽しく」意識啓蒙し阻止率日本一に。当市の取り組みは。

答)イラストやアニメを取り入れた啓発動画やクイズ方式での出前授業。走裕介さんの等身大ポスター等で楽しく啓発していきたい。

問)ラグビーのリーグ戦日程変更やコロナ禍で合宿誘致が難しい状況。今後の取り組みは。

答)女子プロサッカーやラグビーの大会実施、北大病院との連携事業等で積極的に誘致活動。

問)スポトレの芝の肥料代高騰等への対応を。

答)事業者と意見交換し、適正な芝の管理維持に務め、必要経費も確保していきたい。

一般質問から

コロナ禍での物価高騰から暮らしを守る対策を

日本共産党議員団 松浦 敏司



問) 急激な物価高騰対策で市民の暮らしは大変だ。灯油の価格の高止まりで低所得世帯への影響をどのように認識しているか。

答) 所得の少ない世帯に対し商品券を交付してきた。また、非課税世帯に対し臨時特別給付金を出してきた。

問) 灯油価格は昨年同時期より大幅に価格が高騰しているが、福祉灯油を実施すべきだ。

答) 灯油価格の動向と国の支援を注視しながら福祉灯油についても検討したい。

問) 物価高騰で子育て世帯の暮らしが、より厳しくなっている。昨年の6月議会でも生理の貧困について質問したが、現在の状況を伺う。

答) 現在、生理で困ったことがあれば保健室に相談して下さいという掲示物を張り出した。

問) 学校給食費が保護者の負担が重い、無償化すべきだが、市の負担額はいくらか。

答) 新たな負担は、約1億4百万円になる。

風力発電事業に伴う市の対応について

民主市民ネット 山田 庫司郎



問) 風力発電事業の概要は?

答) 網走・北見両市内に4,300kW発電機を10基(網走3基)設置する計画であり、1期工事7基(網走1基)がR4年4月に着工し、R6年4月に稼働予定。2期工事の3基(網走2基)については未定である。10基の発電量は30,000世帯分に値する。

問) 工事施工による網走市への影響は?

答) 関係する市道の整備・除雪等の費用は事業者負担、資材運搬後は現状復旧する。また、資材運搬は、網走港に陸揚げし、運搬は特殊車輛となり、夜間となる。

問) 民有地と思いますが固定資産税は?

答) 固定資産税は試算で、償却期間20年間で約9,700万円/1基が見込まれる。

問) 問題が起きた時は?

答) 事業開始後は、周辺パトロール実施し、環境・地域住民の生活への影響が判明した場合は改善を事業者に要請する。

令和3年度政務活動費の執行状況

人数	人数	交付額	決算額	執行率
志 誠 会	4 名	480,000	480,000	100.0%
民主市民ネット	3 名	420,000	355,615	84.7%
公明クラブ	2 名	240,000	5,500	2.3%
日本共産党議員団	2 名	240,000	240,000	100.0%
同 志 会	2 名	240,000	240,000	100.0%
無会派(江藤英治)	1 名	120,000	82,200	68.5%
無会派(栗田政男)	1 名	120,000	120,000	100.0%
計		1,860,000	1,523,315	81.9%

政務活動費は、議員1名に対し年間24万円(令和3年度については、新型コロナウイルス感染症による厳しい地域経済の状況を鑑み12万円)を会派の代表者に交付し、会派に異動があった場合は月単位で精算します。

収支報告書は、議会事務局で閲覧できます。なお、市議会ホームページでも公開しております。



行政と議会の信頼関係に揺らぎ、改善を

志 誠 会 近藤 憲治



問) 行政組織として住民意思を施策に反映させる考えの有無と今後のビジョンを伺う。特にまちづくりふれあい懇談会は開催意義すら問われているが。

答) どのような懇談会が良いのか知恵を絞っていきたい。デジタル技術の活用も図りながら民意の把握に努めたい。

問) 職員からのボトムアップ型政策形成の必要性について認識を伺う。

答) 職員提案制度の活用も図りながら若手のみならず様々な世代の(職員の)声を施策に反映できるよう努めていく。

問) 行政と議会の緊張関係及び相互信頼関係が揺らいでいる。また、市組織においても職員の心理的安全性の担保が必要。認識は。

答) 議会との対話を重ねる場の在り方などについてお互いの対話の必要性を感じている。市組織内部においても対話の重要性を認識しながら対応していきたい。

トピックス

第5回臨時会概要

7月25日、第5回臨時会が開かれ総額1億6561万円の補正予算を審査しました。

総務経済委員会に

において、商工振興費6030万円は北海道の道内事業者等継続緊急支援金を受ける事業者に10万円を上乗せして支援金を給付。公共交通対策費1448万円は燃料費の高騰でバス業者に1台あたり20万円・タクシー業者に1台あたり1万円の支援金を給付。観光商工費718万は網走特有の観光資源を活用した体験型ツアーの商品化に向けモニターツアーを実施し看板商品を創出する事業費などを審査し、全会一致で可決されました。また、

財産の取得として2662万円で老朽化した小型ロータリ除雪車の購入契約を承認・可決しました。

文教民生委員会において、高齢者福祉費7451万円は社会福祉法人が行う高齢者福祉施設の整備をするための補助金。保育費48万円は保育所で給食の食材費の高騰により新たな保護者負担が生じないよう支援金を給付。学校給食費866万円は前述と同様の理由で学校給食会計に追加の支援金を給付するなどを審査し、こちらも全会一致で可決されました。

遠軽町ごみ焼却施設視察

文教民生委員会は7月12日、遠軽町の「ごみ焼却施設」(えんがるクリーンセンター)を視察しました。



作況調査

7月13日、総務経済委員会は嘉多山、中園、音根内、八坂と小麦やビート、さくらんぼなどの作況調査を行いました。

流氷おどり

3年ぶりに開催されたオホーツク夏まつり。7月22日の流氷おどりには12名の議員が参加しました。



議案審査結果

第5回臨時会の議決結果について（7月25日）

○全会一致で決定・可決した議案

議案第1号 令和4年度網走市一般会計補正予算

議案第2号 財産の取得について

第3回定例会の議決結果について（9月6日～9月27日）

議案と議決結果

(○:賛成 ×:反対 -:棄権)

※議長は、議決に加わりません。

志 誠 会		民主市民ネット		公明クラブ		緑の会		同志会		無所属			
近藤 憲治	立 崎 聡一	古 田 純也	金 兵 智則	平 賀 貴幸	山 田 庫司郎	澤 谷 淳子	永 本 浩子	松 浦 敏司	村 橋 敏章	石 垣 直樹	小 田 部 照	工 藤 英治	栗 田 政男

○議員別議案賛否一覧表（賛否の分かれた議案）

認定第1号 令和3年度網走市各会計歳入歳出決算について（議長裁決により認定）	×	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	×	○	×
議案第11号 重油漏れ事故対策検討特別委員会の設置について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
決議案第1号 網走市議会基本条例の理念に沿った対応と説明を求める決議について	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	×	○

○全会一致で決定・可決した議案

認定第2号 令和3年度網走市水道事業会計の利益の処分及び決算について	議案第12号 網走市新庁舎建設建築主体工事(1工区)請負契約の締結について
認定第3号 令和3年度網走市簡易水道事業会計の利益の処分及び決算について	議案第13号 網走市新庁舎建設建築主体工事(2工区)請負契約の締結について
認定第4号 令和3年度網走市下水道事業会計の利益の処分及び決算について	議案第14号 網走市新庁舎建設電気設備工事請負契約の締結について
選挙第1号 網走市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について	議案第15号 網走市新庁舎建設機械設備工事(1工区)請負契約の締結について
議案第1号 令和4年度網走市一般会計補正予算	議案第16号 網走市新庁舎建設機械設備工事(2工区)請負契約の締結について
議案第2号 令和4年度網走市介護保険特別会計補正予算	請願第38号 国の責任で教職員未配置・未補充問題の改善を求める請願
議案第3号 網走市重度心身障がい者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	意見書第1号 国の責任で教職員未配置・未補充問題の改善を求める意見書提出について
議案第4号 網走市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	意見書第2号 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書提出について
議案第5号 網走市職員の定年等に関する条例の全部を改正する条例制定について	意見書第3号 食料の自給率向上を国政の柱に据える政治転換を求める意見書提出について
議案第6号 網走市職員の定年引上げに伴う関係条例の整理に関する条例制定について	意見書第4号 網走市における油流出事故発生に対する汚染度の全量撤去実現に向けて北海道知事に具体的な取り組みを求める意見書提出について
議案第7号 財産の取得について	意見書第5号 選択定夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書提出について
議案第8号 財産の無償貸付について	
議案第9号 市道の路線認定及び廃止について	
議案第10号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	

議会だよりを音声でお届けします

音読や訪問朗読などの活動をしている朗読ボランティア団体『声の図書館 そよかぜ』は、平成13年から目の不自由な方やご高齢の方々のために「議会だより」を朗読したCDを作成し、御希望の方々に無償で配布されております。

CDをご希望の方は、網走市議会事務局までご連絡ください。

トピックス

網走桂陽高校で出前授業を開催！

未来のまちを担う高校生たちの政治参画意識の向上を図ろうと網走市議会は9月29日、新型コロナウイルス感染症の心配もされましたが、網走桂陽高校の生徒と意見交換会を実施しました。

網走桂陽高校のご協力も得て今年で3回目の開催となりました。

網走桂陽高校、市議会双方とも新型コロナウイルス感染症予防対策に万全を期することから、会場は体育館を設定しました。

市議会議員13名が桂陽高校3年生103名と「選挙に行こう!!」をテーマに意見を交わしました。

前段は、事前アンケートで「選挙権を得たら選挙に行く」と答えた生徒が6割。これを受け地方議会が担っている役割や選挙の意義について議会側から説明。その後、グループに分かれ、「どんな選挙だったら若者が投票に行きますか」という視点で意見交換をしました。意見交換では、「スマートフォンやパソコンを使いインターネット、SNSでの投票」「投票すると何か特典がある」と投票に行く「明るい雰囲気、楽しい雰囲気の工夫をして暗いイメージをなくす」などの声がありました。

若い世代との意見交換・交流を通じ、今後の市政へ反映できるご意見をいただくなど、大変貴重な時間となりました。

